

震災時に役に立ったもの

突如ライフラインが途絶え、今まで自由に使っていたものが使用できなくなり、現代生活の脆さを実感させられた東日本大震災。一方で、改めて価値を見直したのも少なくありませんでした。そうしたグッズや機器を日頃から使用したり、携帯することは、震災の備えにも繋がっていきます。



電池式ラジオ

震災直後の停電時、貴重な発電源となりました。



反射式ストーブ

電気不要の反射式石油ストーブは、やかんや鍋を煮てお湯を沸かしたり、炊飯にも利用できます。



自転車

交通機関の麻痺とガソリン不足で、震災直後は自転車が大活躍。



リュックサック

両手を使えるので、買い出しなどに欠かせません。



スニーカー

さっと履けて、とっさの場合に走れる1足を揃えておきたいもの。部屋に倒れ物が散乱した時も、ケガの防止にスリッパよりスニーカーが便利です。



雨水タンク

震災後の降雪は雪さが溶けた反面、タンクをいっぱい満たしてくれたそうです。



キャンプ用品

電気・水道・ガスが使えない状況はキャンプと同じ。バーベキューグリルやカセットコンロなど、様々な用品が活躍しました。



キャリーカート

水や米などの重い荷物もカートがあれば楽に運べます。スーパーでの代用も。マンションの場合、エレベーターが停止した時に備え、登板能力が高い階段カートが役に立ちます。



鍋

大きめの鍋は水を貯めたり、冬場は雪を入れてストーブで溶めれば、お湯も確保できます。



携帯電話

電話自体が通じない時もメールやウェブ機能が活躍。電池切れに備え、ハンディ式の携帯電話用充電器も揃えておきましょう。



充電式電池

震災後の一時期、電池不足が問題に。シガーライターソケットから充電可能な製品は、停電時にも重宝します。



粉末タイプのスポーツドリンク

ミネラルや糖質などを効率よく補給できる上、粉末して水込みが必要な場合は、賞味期限の水の味が緩和できます。



腕時計

普段は携帯電話しか持たない人も、電力復旧までの間、外出時の時間確認に腕時計が重宝しました。



食器用ラップ

食器にラップをかけて食事をすれば、水洗いせずに済みます。



メガネ

断水時はコンタクトレンズが容易に外せないで、メガネが活躍。非常時に備えて、常にカバンに携帯したいものの一つです。



デジタルカメラ

災害を記録するためだけでなく、停電の際に再生画面の明かりが懐中電灯の代わりに使えました。



冷えタオル

震災が直撃に起こった場合、節電の要に注目された冷えタオルは、暑さ対策に重宝しそうです。



ウェットティッシュ

手を洗うにも、洗顔するにも、水がないと不便なことばかり。お肌弱い方はベビー用のノンアルコールタイプがオススメです。



現金

地震直後は銀行・コンビニのATMがストップ。クレジットカードやプリペイドカードも使用不可の状態で、当面使えるのは手元にある現金だけになります。